

初春どり重量野菜の端境期に対応した品質安定化技術

【研究概要】

ダイコン、キャベツ、ハクサイは、低温やその後の急激な気温上昇により品質が低下するため、2～3月の良品生産は困難である。そこで、2～3月どりの作型を対象とし、低温等による障害の少ない品種の選定を行い、省力性に配慮しながら、被覆資材などを利用して障害を抑制するための栽培管理技術を開発する。直売用だけでなく、近年急増している学校給食用途にも配慮し、解決を図ることを目的にして試験を実施した。その中で今年度は下記の4つの成果が得られた。

- (1) 初春どりに適した短形ダイコンの品種とマルチの種類（規格）を明らかにした。
- (2) 初春どりに適したダイコン有望品種を絞り込み、2品種を選定するとともに、マルチの種類、株間を明らかにした。
- (3) 低温による障害の少ないキャベツ有望品種を1品種に選定し、定植適期を推定した。浮き掛けによる凍害軽減の可能性を示した。
- (4) 初春どりに適するハクサイ3品種を選定した。浮き掛け被覆による寒害軽減の可能性を示した。